

教科(科目)	技術	総時数	35 時間	学年(コース)	1 学年
使用教科書	東京書籍『新編 新しい技術・家庭 技術分野』				
副教材等	明治図書『技術・家庭総合ノート 技術分野』				

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル (地域的・地球的) な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

### 2 学習目標

<p>生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
---

### 3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や社会を支える「材料と加工の技術」と「生物育成の技術」について調べます。</li> <li>生活や社会における問題を「材料と加工の技術」によって解決します。</li> <li>これからの社会の発展と「材料と加工の技術」の在り方を考えます。</li> </ul>
---

### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p>	<p>生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>

## 5 評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・授業への取組 ・作品、ワーク、ファイル（ワークシート）などの提出物 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業への取組 ・作品、ワーク、ファイル（ワークシート）などの提出物 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業への取組 ・作品、ワーク、ファイル（ワークシート）などの提出物 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

## 6 学習計画

月	単元名	授業時数	教材	学習活動(指導内容)	評価方法
4	ガイダンス	2	オリエンテーション	・3年間の見通し、授業の受け方やルール	授業の取組
5	身の周りを整理するものを製作する	7	生活や社会を支える材料と加工の技術	・材料と加工の特性、基礎的な技術の仕組み ・技術に込められた問題解決の工夫	授業の取組
7		7	構想の表示方法	・第三角法、等角図	構想図
8		12	材料と加工の技術による問題の解決	・問題の発見、課題の設定 ・設計・計画の立案、製作図 ・製作品の製作による問題解決 ・製作の振り返りとまとめ	授業の取組
9					
10					
11	12	2	社会の発展と材料の加工の技術	・新しい技術活用や技術開発、将来展望	授業の取組 作品
12					
1	工具の使い方の復習	3	廃材を利用して小物入れなどの作成	・これまで学習した工具の使い方を復習し日常生活に生かす	授業の取組
2		2		・技術に込められた問題解決の工夫	ワークシート
3					

計 35 時間 (50 分授業)

## 7 課題・提出物等

・作品 ・ワーク ・ファイル（ワークシート）

## 8 担当者からの一言

小学校で学んだことを踏まえ、1年生では「材料と加工の技術」について学びます。主に木材を使って、身の周りを整理する物を製作します。製作した作品は2年時の秋燕祭へ出品します。

(担当：小黒)